

シニア

OH! HAPPY! シニアゴスペル

歌謡曲や英語のゴスペル曲を歌いましょう対60歳以上の市民の方時6月3日・17日、7月1日・15日・29日の火曜日、午前10時～正午（全5回）場柴崎福祉会館師生涯学習市民リーダー・内田一行さん定20人（申込順）特筆記用具申5月12日（月）から柴崎福祉会館（523）4012へ

これからも元気で安全に運転するために「健康安全運転講座」

運転能力の維持向上などに役立つ健康指導を理学療法士から学び、衝突回避支援システムなどを体験します対65歳以上の自動車運転免許証をお持ちの方時6月3日（火）午後1時から場ダイハツ東京販売Dモール立川ポテトロード店（泉町841-11）定20人（申込順）申高齢政策課介護予防推進係・内線1472へ

居場所づくりの補助金を希望する団体を募集します

市は、65歳以上の方の居場所づくりを応援するために、定期的に運動やレクリエーション、茶話会などを行う団体に運営費の一部を補助します。補助団体は選考によって決定します。通算で3回まで▶対象＝次のすべてに該当する団体▷65歳以上の市民が3人以上所属している▷活動の目的が地域の高齢者の居場所づくりである▷1回の活動が1時間以上で週1回以上活動している▷原則として新たな参加者の利用を拒まない▶補助金額＝対象経費の2分の1（賃貸料、消耗品代、講師謝礼、保険代などで上限月1万円）▶対象とならない費用＝光熱費、飲食費、運営者側の謝礼や交通費、65歳以

上の市民が参加していない回の費用、他の補助制度が充てられている費用申6月2日（月）までに高齢政策課介護予防推進係・内線1471へ

お知らせ

カウンセリング相談（お悩み相談）の電子受付を開始します

女性総合センターで実施している専門相談員によるカウンセリング相談（お悩み相談）が、5月12日（月）から電子申請で予約できるようになります。家族のことや仕事のことなど、ちょっとしたことでもご相談ください。くわしくは市ホームページをご覧ください▶電子申請の申込期限＝各相談日の2日前まで。各相談日前日および当日は、電話で申し込んでください男女平等推進課（528）6801

市営葬儀説明会（葬儀料理の試食付）

立川市斎場指定管理者のシルバー人材センターから市営葬儀について説明を聞きます。直接会場へ。電話による相談も随時受け付けています時5月30日（金）午前10時～11時、なお、説明会終了後に、市営葬儀での通夜振る舞いや壇払いの料理の無料試食会を開催します場立川市斎場（羽衣町3-20-23）男女立川市斎場（524）1998

市営葬儀の基礎知識について説明します

立川市斎場指定管理者のシルバー人材センターが市営葬儀の基礎知識について個別に説明します時①5月23日（金）▷午後2時から▷午後3時から②5月27日（火）▷午後2時から▷午後3時から場①女性総合センター5階第2学習室②天王橋会館定各2組（申込順）申立川市斎場（524）1998へ

生活にお困りの方のための「無料法律相談会」

お金や仕事、住まい等、生活に関する困りごとを弁護士に相談できます時5月23日（金）午後1時～4時（1人30分）場総合福祉センター定6人（申込順）申立川市くらし・しごとサポートセンター（503）4308へ

官公署・その他

国蝶オオムラサキ見学会

くわしくは「東京たま広域資源循環組合」のホームページをご覧ください対多摩地域在住・在勤・在学の方時6月28日（土）▷午前8時15分～11時30分▷午前10時～午後1時15分▷午後1時15分～4時30分場谷戸沢処分場（JR青梅線河辺駅付近集合・解散）定各60人（抽選。時間の希望は受け付

けません）申6月10日（火）正午（必着）までに「東京たま広域資源循環組合」のホームページから申し込むか、はがきに「国蝶オオムラサキ見学会希望」、参加者全員の郵便番号・住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号（日中、連絡がとれる番号）、在勤・在学の方は通勤・通学先の市町村名を書いて東京たま広域資源循環組合「国蝶オオムラサキ見学会」係（〒190-0181西多摩郡日の出町大字大久野7642番地）（597）6152へ

たちかわ競輪開催日

●福井FI＝5月15日・16日●大垣FII・ガールズ＝5月15日・16日●宇都宮記念＝5月15日～18日●高知FII＝5月17日・18日●岸和田FI・ガールズ＝5月18日 いずれも場外発売

開催案内・レース結果 （5050）3355）4703

市民伝言板

この欄の情報の連絡・交渉は当事者間で。市は関与しません。

まちのお知らせ

●「飾り巻き寿司」を作ろう 新日本婦人の会立川支部が主催。見て美しく、食べておいしい、切り口が椿の花になるお寿司を作ります時5月23日（金）午後1時15分～4時（午後1時開場）場女性総合センター5階料理実習室費500円（材料代）定30人（申込順）時すし酢飯2合、海苔4枚、巻きす（大1、小1）申有岡さん（090）8648）0417へ●弓道初心者教室 立川弓道会が主催。弓道を始めてみませんか対市内在住・在勤の方時5月26日（月）～6月6日（金）の月曜・水曜・金曜日、午後7時30分～9時（全6回）場練成館費2,000円（保険料ほか）定15人（申込順）時運動しやすい服装、靴下申岡崎さん（524）2886へ●あしらせ体験会 あそぼう会が主催。令和7年2月から立川で日常生活用具の対象となった視覚障害者用支援グッズ「あしらせ」を体験します。あしらせは、靴を振動させて道案内するデバイスです。当事者はもちろん関心のある方も参加できます時6月14日（土）午後2時～4時場子ども未来センター費100円（参加費）定8人（申込順）申奥澤さん（5007）7877へ●はじめての自彊術体操講習会 公益社団法人自彊術普及会立川朝日支部が主催。自彊術体操は、日本初の健康体操として大正5年に考案された100年余りの歴史ある体育療法です。皆と一緒に、体と心を整えましょう。椅子に座ったままでも体験できます時5月19日（月）午前10時～11時30分場女性総合センター5階和室申加藤さん（080）9884）7340へ●英語でEnjoy! ダンスと歌の表現ワークショップ体験会 HEART Global立川が主催。世界中の子どもたちとワークショップをしてきたHEART Globalのメンバーと、踊って歌って思いきり体を動かしましょう。「HEART Global立川」のホームページから申し込んでください対小・中学生時6月1日（日）▷午前10時～正午▷午後1時30分～3時30分場柴崎学習館費1,000円（参加費）定各50人

（申込順）申田澤さん（090）5511）2020@gmail.com●中国語で楽しく会話する！中国語学習会（初級、中・上級） 中文映画クラブが主催。子ども映画物語を読む初級者向けと、人気映画小説を読む中・上級者向けを実施します時6月11日（水）・29日（日）▷初級者向け＝午後1時30分～3時▷中・上級者向け＝午後3時～4時30分場子ども未来センター定各8人（申込順）申大山さん（080）5209）1688へ●オペラ「ボエーム」への招待 文化芸術いきいきネットワークが主催。誰もが親しめるオペラ演出で定評のある国立音楽大学招聘教授・中村敬一さんの解説と若手のオペラ歌手の歌唱でブッチーニ作曲のオペラ「ボエーム」のハイライトを楽しみます時6月7日（土）午後2時～4時場柴崎学習館定150人（申込順）申後藤さん（584）0615へ（午前9時～午後7時）●かんがえよう！わたらしいこれから！ NPO法人三多摩市民後見を考える会が主催。これからのお金や生活、体のことなどに不安を感じている方へ、福祉の現場経験をもつお金の専門家が、不安への対処法を話します時6月28日（土）午後1時45分～4時20分場総合福祉センター費500円（資料代）定40人（申込順）申川杉さん（531）0624へ●こぶし会館ふれあいまつり こぶし会館管理運営委員会が主催。ダンスの集い、芸能発表のほか、展示など。直接会場へ。駐車場はありません時▷5月24日（土）午前11時～午後5時▷5月25日（日）午前9時～午後3時30分場こぶし会館男女こぶし会館（537）0810

（537）0810

会員募集

●未来シニア体操 音楽にあわせてストレッチ、軽いリズム体操、筋力アップを行います。運動不足解消や健康増進に。体験可時毎週木曜日、午後2時～3時30分場子ども未来センター入1,000円月3,000円月小佐野さん（090）6101）3247へ●大空ハイキングクラブ 会員20人程度の小規模で明るく楽しいクラブです。平均年齢およそ70歳の仲間たちと健康を目指してゆっくり、のんびりと安全第一でハイキングを楽しみます対50歳～74歳の方時月3回程度の土曜日、または日曜日場多摩近郊の低山入300円月530円申田見さん（090）5514）1438へ

市長コラム

たちかわは万が一に備え、情報発信を拡げます

「広報たちかわ」4月25日号で紹介したとおり、4月から「FMたちかわ」で新番組がスタートしました。

平日午後は「立川市役所インフォメーション」として市職員から、日曜朝は私から「立川市や市役所をもっと身近に感じてもらいたい」との思いで「酒井市長の部屋」を放送しています。

「なんで今さらラジオなの？」という声が聞こえてきそうですね。実は私も家には災害時用ラジオのみ、たまに車に携帯アプリで聴く程度です。

ですが、真の目的は、大規模災害発生時の事例を踏まえた市職員の思いから、災害時における市民の情報収集ツールとしてラジオ活用の推進をすること。

市民の日常に少しでも浸透するように発信して、普段使っていないラジオを意識していただき、災害時の備えとします。

もちろん、HPやSNSなども、今以上にもっと活用してまいります。

いつも、いつでも、市民が情報にアクセスしやすい立川を目指します。

立川市長 酒井大史